

- ▶ 林業就業者は、過去30年で3分の1にまで減少しており、森林を適正に管理し、林業を発展させていくためには、将来にわたって安定的に林業労働力を確保していく必要がある。
- ▶ このため、次代を担う人材の確保に向け、首都圏や県内等で幅広く林業への就業についての情報発信を行うとともに、県内の林業事業体へ就業を希望する者を対象としたインターンシップや、高校生を対象とした林業職場体験を実施し、林業の職場を知ってもらう取組を展開。

□ 事業内容

1 林業担い手総合対策事業

- ・就業相談会や就業支援研修、林業現場でのインターンシップのほか、高校生向けの職場体験研修を実施。

【事業費】7,344千円（うち譲与税6,695千円）

【実績】

- ・高校生林業就業相談会1回、インターンシップ14回、林業体験ツアー2回、林業就業支援研修4回、就職相談会出展5回、三重県林業就業セミナー1回を実施
- ・高校生向けの職場体験研修を5校で実施

□ 取組の背景

- ・県内の林業就業者数は長期的に減少傾向にあり、30年前と比較して3分の1以下にまで減少してきていることから、森林の適正管理や持続的な発展に向けて、今後増大する森林整備に対応できる担い手の確保が必要。
- ・林業就業希望者を対象とした研修やインターンシップを通じて、林業への理解を深め、定着を見据えた就業につなげるとともに、県内の高校生を対象とした林業職場体験や就業相談会を通じて、将来の進路の選択肢として「林業」をアピールすることが必要。



（首都圏における就業相談会）



（林業体験ツアー）

□ 工夫・留意した点

- ・林業就業者の育成・確保に向け、就業相談会の開催だけでなく、林業就業希望者を対象とした林業体験や研修、インターンシップなどを実施し、林業に関心を持った方が実際に就業に至るまでの過程を一体的に支援できる体制を整備している。
- ・多くの方に三重県の林業に関心をもってもらえるよう、首都圏等の人口の多い地域において、就業相談会への出展やセミナーを開催。

□ 取組の効果

- ・県内の林業事業体へ就業を希望する者を対象とした林業体験講座やインターンシップの実施により、林業への理解を深め、定着を見据えた就業につなげています。
- ・県内の高校生を対象とした林業職場体験や就業相談会で、生徒達が将来の進路の一つとして、「林業」を選択する道を開き、次代を担う人材の確保につなげています。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：142,686千円	②私有林人工林面積（※1）：193,805ha
③人口（※2）：1,770,254人	④林業就業者数（※2）：1,027人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より